

第 39 回バイオマテリアル学会大会 参加報告

修士課程 1 年

井田雄太

私は 2017 年 11/20—11/21 にタワーホール船堀で開催された第 39 回バイオマテリアル学会大会に参加してきました。この大会は、セラミックス、金属材料、高分子材料から再生医療、組織工学の広い分野までセッションが生まれ、近年の国内の生体医療分野の研究動向を把握するのに、大変有意義な場でした。

私は「再生医療・組織工学」のセッションで「超音波振動刺激が軟骨前駆細胞 (ATDC5) の分化に及ぼす影響」というタイトルで発表しました。このセッションでは生体外で作る生体組織もバイオマテリアルの一つというような観点で講演がされており、非常に勉強になることが多かったです。発表は 8 分間と今までの発表の中では一番短く、さらに先輩の修論での内容の発表だったため、大変不安でしたが、いつも通り発表できたと感じています。ただ質疑応答では、私の生体分野の知識の少なさを痛感することも多く、今後に生かしていきたいと強く感じました。最後に、発表の機会を与えてくださった小茂鳥先生、研究の方針についてご指導いただいた宮田先生、倉科先生に御礼申し上げます。(写真を撮り損ねたので、学会後の小茂鳥先生とのツーショットを挙げています)



学会ポスター



小茂鳥先生と私